

視点

- 2 北陸の港湾技術 気候変動への対応
■北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所長 武田 均

トピックス

- 3 みて、ふれて、知る 新技術・新工法
けんせつフェア北陸2023in金沢開催報告
■「けんせつフェア北陸2023in金沢」実行委員会

技術レポート

- 7 鵜川ダム カーテングラウチング計画における課題と対応
■新潟県柏崎地域振興局 地域整備部 ダム建設課
- 15 戸石地区河道掘削その10工事
軟弱地盤における泥上掘削機械を活用した
堆積土の掘削について
■(株)坂詰組
- 17 R3・4能越道 小泉道路その26工事
『現場の生産性向上』を積極的に取り入れた施工管理
■(株)豊蔵組 (トヨクラグミ) 吉田 照紀
- 21 LRV工法による鉄道高架橋の省力化構築技術
フルプレキャストによるRCラーメン高架橋の急速施工
-北陸新幹線、福井開発高架橋-
■(株)大林組 三倉 寛明



けんせつフェア北陸2023in金沢
開催報告▶P.3



施工状況▶P.15



MCツインヘッダ操作体験▶P.17



柱基部のプレキャスト部材組立
▶P.21



■伏木富山港(新湊地区)国際物流ターミナルのガントリークレーンを更新

国際物流ターミナルは、外貿コンテナ貨物の増加や船舶の大型化に対応するため、平成14年4月に供用を開始しました。国際物流ターミナルの供用に合わせ、東京港から移設されたガントリークレーン1号機は、製造から30年以上が経過し老朽化が進行していたことから更新を実施しました。

新しいクレーンは、伏木富山港新湊地区の港口に架かる新湊大橋の桁下を通過させるため、上下2分割で海上運搬し、起重機船を用いて現地で組立を行いました。

今回の更新により、迅速で効率的な荷役が可能になることで、伏木富山港のさらなる利用促進が期待されます。

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 25 ICT施工の普及拡大に向けた取組
■北陸地方整備局 企画部 施工企画課



- 27 NEXCO東日本 各種要領の改定概要について
■東日本高速道路(株) 技術部 技術管理課



ICT活用講習会(実践者クラス)
の様子▶P.25

職場紹介

- 29 土木業界ダントツSNSとかわいい土木
■(株)江口組



キャラを使ったバリケード▶P.29

新技術情報

- NETIS登録技術
■令和5年度登録技術
- 31 ・タブレットとクラウドを利用した道路附属物点検システム
【登録番号:HR-230006-A】 (株)国土開発センター
- ・高熱伝導コンクリート
【登録番号:HR-230007-A】 東邦産業(株)、新潟太平洋生コン(株)



現場での測量風景▶P.34

先輩なう!

- 34 誇りある仕事に挑む
■(株)ガイアート 工事部 松田 大河 さん



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp